

この街に
この人あり

身近な材料を使って 「ものを創る」楽しさを 体験しましょう

「不器用とかセンスがないとか『ノープロブレム』。やってみたい気持ちが一番。さあ、一緒に楽しんでみましょう！」と、ワークショップへの参加を呼びかけるクラフト作家村田弘子さんの自宅兼工房を訪ね、クラフト工芸への想いや「ワークショップHIRO」の活動についてお話を伺いました。



村田弘子さん。自宅兼工房前にて

クラフト工芸をはじめたきっかけ

自然豊かな秋田県大館市花岡に生まれ、物を捨てず、身近な木製品を手作りする親を見て12才まで過ごしたことが原点になっています。40年間勤めた杉並区児童館の定年退職を機に、活動に専念し、ハヶ岳の山荘で集めた草木を材料に、趣味の枠を超えクラフト作家としてオブジェを創作したり、木のマイスプーンなど実用品の作り方を教えたりをはじめました。

クラフト作家としての活動

ご近所とのお付き合いが少なく、芸術家としての経歴や肩書もないので、どのように手掛けていけば良いか悩みました。自宅で「ワークショップHIRO」を開設し、新高円寺のヘアサロンや成田東のパン工房に草木を素材にしたクラフトアートを常設展示して頂き、ゆうゆう館や障害者施設などに出張レッスンしながら、少しずつ広がっていきました。活動や作品はJAZZミュージシャンとしてアメリカで暮らす息



Tシャツの製作風景

子のアドバイスで始めたブログを日々更新し、公開するようになっています。

ワークショップで大切にしていること

レッスンに来たくても来られない人、障害や病気が原因で思うに任せない人を、普通に出来る人以上に大切にしたいと思っています。「ワークショップHIRO」に通えない障害者の方をマイカーで送迎することもあります。私自身が山荘で怪我をして車椅子生活を余儀なくされた経験や、家族の病気のケアを通じ、手助けをすること、心を癒すことの大切さを学んだからだと思います。ガイドヘルパーの資格も取得しました。

今後の夢と目標

地域の方々が私を知っていてくれて、「ちょっと行ってくるわ」と下駄をはいて気軽に来られる様なコミュニケーションが広がるのが夢です。そこで「茶飲み話+α」のお付き合いをする。私は「+α」がとても重要なことと考えています。「ワークショップHIRO」がそんな「+α」を生む場になることを願っています。

お問い合わせ先

ワークショップHIRO 代表 村田弘子

杉並区成田西2-9-10

Email murata-hiroko@jcom.home.ne.jp

Blog <http://blog.goo.ne.jp/murata-hiroko>